

# 交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2011年3月31日

No. 18

## 定期昇給完全実施・ベアゼロ！

- 55歳以上の社員は1,300円の賃金改善（加算）
- 契約・臨時社員は社員の定昇率（2.07%）を適用
- 震災で被災した社員への見舞金など手厚い策を講ずる。

## 申7号諸要求は一部前進！

- ・ 駅、保全社員の制服（一般服）の増貸与
- ・ 検修服の生地を改善し強度を向上する
- ・ 通勤手当の上限を13万円に増額
- ・ 契約・臨時社員の契約回数15回表彰（3万円支給）
- ・ 保全職場へ日勤1種導入を検討

### 11春闘賃上げ交渉最終報告

（1）中央本部は断続的に交渉を行い、18時40分から最終交渉に臨みました。席上会社側は、①定期昇給の4号俸は実施するが、ベアについては、今回の震災は復旧までに相当時間を要するとともに、運輸収入も大幅な減となっていることから黒字は微妙な状況である。景気の先行きも大変厳しく、国交省や荷主、他旅客会社の動向など周りを取り巻く状況が厳しいこと。したがってベースアップは実施できる状況にない。②55歳以上の社員はこれまで通り1300円加算する。③契約・臨時社員は社員の定昇率を適用する。また諸要求は上記の項目について回答を提示しました。

（2）これに対して中央本部は、①22年度は貨物労組として絶対に3年連続赤字をさけるために定期昇給を半年見送ってまで臨んできた。その集大成として事業計画達成を目前に大震災となってしまう。②未曾有の大地震、津波、原発事故のなか避難や家族を失った組合員もいる中で、14日以降の交渉を中断して救助・救援活動に努めてきた。会社も迂回輸送や復旧作業など尋常でない事態を実感したと思う。③この様な状況で貨物労組は年度末に決着し、22年度は黒字決算を達成し新たな地点でそれぞれの立場で奮闘していきたい。④今大震災で被災された組合員に対して会社や互助会などの見舞金や、社宅への入居など貨物本体のみでなくグループ全体に手厚い策を講じられたい、として妥結することとしました。

（3）2月15日の申し入れ以降、ベアを獲得するために3,15統一行動を含む各種取り組み、そして本部への創意工夫した激励行動大変ご苦勞様でした。中央本部は最後までベアにこだわり春闘をたたかってきました。年度内に節目をつけ、今後災害復興に最大限取り組むこととし妥結することとしました。

全国の組合員の皆さん！今後は大震災の救援活動や迂回運転などに全力で取り組み、復旧・復興に対し鉄道貨物輸送の社会的使命を最大限発揮することで、今後の未曾有の危機を組織一丸となって取り組んでいこうではありませんか！中央本部も最先頭に立ってたたかっていくことを決意し、これまでの本部に対する激励行動に心から御礼申し上げ最終報告とします。

以上